

ランピースキン病の最新情報

自主淘汰等により1月9日時点で
国内の発症頭数が0頭に！



農林水産省HP・ランピースキン病についての最新情報は、こちらから
12月26日、熊本県での発生(22例目)が最後となっていますが、

健康観察の徹底を引き続きお願いします！！

本病を疑う牛を見つけた場合には、

発症牛の隔離、速やかに獣医師、家畜保健衛生所に連絡を。

吸血昆虫（サシバエ）の駆除は今から準備を・・・

成虫は全体の20%、残り80%は卵～さなぎの状態。

幼虫段階で個体数を減らすことが重要

＜幼虫対策＞

・**昆虫成長制御剤（IGR剤）**を散布する

サシバエの発生源（糞のたまるところ、子牛ハッチや牛房の隅など）に
月に1～2回、IGR剤を散布

・堆肥の定期的な攪拌

＜成虫対策＞

・殺虫剤の散布と粘着シートの併用等による駆除を徹底する

※サシバエ成虫には、舐めるタイプの殺虫剤は効果がない→

成虫には**粘着シート**が有効

・牛舎周辺の雑草をなくして、成虫の隠れる場所をなくす

・薬剤含侵防虫ネットを設置する

東濃家畜保健衛生所

TEL：0573-26-1111（内394） FAX：0573-25-7669

休日・夜間に連絡の必要な場合は、警備室0573-26-1114 に電話し、
「家畜保健衛生所に緊急に連絡が必要」とお伝えください。